

Just Composed 2016

in Yokohama ~現代作曲家シリーズ~

2016 **3/20** [日] 19:00開演 (18:30開場)

横浜みなとみらいホール 小ホール

Yasuno Miyauchi



委嘱作曲家 / 宮内康乃

接

Chihiro Tai



ヴィオラ / 多井千洋

続

Yoshu Kamei



ヴァイオリン / 亀井庸州

Osamu Kawakami



チェロ / 川上統

Program

- ・新作 (Just Composed 2016委嘱作品) / 宮内康乃
- ・369 ハルモニアII / 三輪眞弘
- ・畸斑 (再演: Just Composed 2008委嘱作品、編曲版再演) / 山根明季子
- ・弦楽四重奏曲第2番 嬰へ短調 op. 10 / シェーンベルク
- ・新作 (弦楽四重奏、世界初演) / 池田拓実

Maki Ota



ピアノ / 太田真紀

Yasutaka Hemmi



ヴァイオリン / 辺見康幸

せ

Tomoki Tai



チェロ / 多井智紀

Takahiro Yasuda



ヴィオラ / 安田貴裕

よ

!

三輪眞弘プロデュース。新進気鋭の作曲家、宮内康乃の新作を発表!

チケット情報

■入場料: 全席指定 3,000円 / Miraist Club会員 (横浜みなとみらいホール友の会) 2,700円 /

65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方 2,700円 / 学生 1,500円

※未就学のお子さまの同伴、入場はご遠慮ください。

チケット取扱い・お問い合わせ

横浜みなとみらいホールチケットセンター

045-682-2000 (電話予約10:00~18:00 窓口10:00~19:00 ※休館日・保守点検日を除く)

チケットセンターWeb <http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php>

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t>

関連レクチャー

白石美雪によるJust Composed 2016の楽しみ方

日時: 2016年3月13日 (日) 13時00分~15時00分 (12時40分開場)

会場: 横浜みなとみらいホール レセプションルーム (楽屋口より入館)

出演: 三輪眞弘 (作曲家)、白石美雪 (武蔵野美術大学教授、音楽学者)

※要事前申し込み (横浜みなとみらいホール事務室 045-682-2020)

入場
無料

主催: 横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)
支援: 平成27年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

「Just Composed in Yokohama ～現代作曲家シリーズ～」は、新進気鋭の作曲家に新作を委嘱し発表すること、そして過去の委嘱作品を再演することを趣旨として1999年より開催してきました。テーマと内容は毎回異なり、3名の選定委員—白石美雪（音楽学者）、池辺晋一郎（ホール館長）、一名は毎回異なる—により決定されます。

今回は選定委員に作曲家、三輪眞弘を迎え、その司令（テーマ）は「接続せよ!」。新作は音楽パフォーマンスグループ「つむぎね」での活動を主とする宮内康乃に委嘱。弦楽合奏というクラシックの伝統に現代音楽の挑戦を「接続」します。演奏はヴァイオリン亀井庸州、チェロ多井智紀など、三輪氏が信頼を寄せる演奏家が集結。ソプラノのパートがあるシェーンベルクの弦楽四重奏曲など、本公演でしか聴くことのできないラインナップをどうぞお楽しみに!

委嘱作曲家／宮内康乃

東京学芸大学G類音楽科 作曲専攻卒業。IAMAS(情報科学芸術大学院大学)メディア表現研究科修了。作曲を、山内雅弘、三輪眞弘各氏に師事。大学にて作曲を、大学院にてメディアアート、コンピューター音楽などを学んだ結果、楽譜を使わず、呼吸など人間の身体的特徴を活かした独自の作曲法を確立し、女声のための合唱曲「breath strati」を発表。オーストリア、リンツでの「Prix Ars Electronica2008」にてHonorary Mention を受賞する。2008年より、独自の作曲法の実践を目指し、音楽パフォーマンスグループ「つむぎね」を立ち上げ、活動を始める。おもに声と鍵盤ハーモニカを用い、空間全体に響きを紡ぎ出していくパフォーマンスを展開。2008年度トーキョーワンダーサイト主催「Experimental sound, art and performance festival 2008」にて最優秀賞を受賞。現在も精力的に活動を行っている。2011年には、複数の鍵盤ハーモニカのための「mimesis」にて、日本作曲家協議会主催「第6回JFC作曲賞」受賞。

近年、その誰もが参加できるシンプルな作曲法を「つむぎねメソッド」と名付け、プロ・アマ問わず若男女共に音を紡ぐ、ワークショップ活動「わ・つむぎプロジェクト」にも力を注ぐ。子どもたちのワークショップやアウトリーチ活動を始め、2015年度アサヒ・アーツスクエア、グローアップ・アーティストに選出され、「わ・つむぎプロジェクト」により、ワークショップ参加者と作り上げるパフォーマンスにも挑戦した。また、正倉院復元楽器や聲明など、日本の伝統音楽の作曲にも強く興味を持ち、古典と自身の表現と融合させることに取り組んでいる。

2015年度ACC(Asian Cultural Council)のグランティに選出され、4月から半年間ニューヨーク滞予定。つむぎねウェブサイト <http://www.tsumugine.com/>

Yasuno Miyauchi

ヴァイオリン／亀井庸州

Yoshu Kamei

2000年ごろより、主に同世代の作品初演を中心に活動を始める。ベルギー王立リエージュ音楽院において、ジャン＝ピエール・ブーヴィオン、ギャレット・リスト、大久保泉ら各氏のもとで欧州の20世紀音楽や即興演奏を学んだほか、各氏とは欧州各都市にて共演。

2007年より拠点を東京へ移し、細川俊夫、三輪眞弘、湯浅譲二、ヘルムート・ラッヘンマンといった現代の代表的な作曲家とともに協働しつつ、室内楽、ソロの演奏を中心に取り組んでいるほか、自身で尺八の演奏を研鑽し、古典尺八の音楽と現代のヴァイオリン作品演奏を同時に追求している。

ヴァイオリン／辺見康孝

Yasutaka Hemmi

ヨーロッパ諸国、オーストラリア、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、南アフリカ共和国、韓国、香港でも演奏活動を行っており、様々な国際音楽祭に招待されている。2001年より2年間はベルギーのアンサンブルChamp d'Action、帰国後はnext mushroom promotionのヴァイオリニストとして精力的に演奏活動を行う他、松村多嘉代(ハープ)とのデュオX[iksa](イクサ)ではオリジナル曲やオリジナルアレンジで新たな境地を開拓している。2012年には日本人としては初めてジョン・ケージの「フリーマン・エチュード」全32曲リサイタルを日本現代音楽協会主催で行い、話題となった。2004年にMegadisc(ベルギー)からリリースされたソロCD、数々のX[iksa]アルバムの他、多数のCD録音に参加している。

ヴィオラ／多井千洋

Chihiro Tai

大阪府大阪市出身。愛知県立芸術大学、東京藝術大学大学院を経て京都市交響楽団に入団。これまでにヴァイオリンを杉山笙子、東儀幸に、ヴィオラを竹内晴夫、クロード・ドルロン、百武由紀、川崎和恵の各氏に師事。

2010年ヴィオラスペース名古屋公演にて、今井信子氏と室内楽で共演。第21回レスプレンドル音楽コンクール室内楽部門1位。大学在籍中からオーケストラのみならずソロ、室内楽においてバロックから新作初演まで、幅広く活動している。ネクスト・マッシュルーム・プロモーションメンバー。

ヴィオラ／安田貴裕

Takahiro Yasuda

1978年生まれ。川島正雄、山口裕之、三戸康雄、ロバート・ダヴィドヴィチの各氏に師事。東京音楽大学入学後、奨学金を得て州立フロリダ国際大学へ入学。帰国後フリーランスとしてヴァイオリン、ヴィオラを演奏するほか、同時代の作曲家の作品を取り上げることを主眼に演奏活動を行ない、数多くの新作初演を手がけている。

東京オペラシティ主催の同時代音楽企画「コンボージアム」シリーズ、サントリーホール主催のポリニ・パースペクティブなど、ホール企画の演奏会にも多く出演している。KEI音楽学院講師。

チェロ／川上統

Osamu Kawakami

1979年、東京生まれ。東京音楽大学音楽学部音楽学科卒業、同大学院修了。作曲を湯浅譲二、池辺晋一郎、細川俊夫、久田典子、山本裕之の各氏に師事。2003年、第20回現音新人作曲賞受賞。2009、2012、2015年に武生国際音楽祭招待作曲家として参加。2010年、武生からの交換作曲家としてフランスのロワイヨモン作曲セミナーに参加。2014年、just composed in YOKOHAMA委嘱作曲家。同年、韓国の大邱国際現代音楽祭に招待される。Ensemble Contemporary α、ROSCO、voxhumana、混声合唱団「空」、東京現音計画、next mushroom promotionなどの様々なアンサンブル、演奏家からの委嘱初演がなされている。Tokyo Ensemblable Factory musical adviser Ensemble Contemporary α作曲メンバー。作曲作品は生物の名が多い。

現在、国立音楽大学非常勤講師、東京音楽大学付属高等学校非常勤講師

チェロ／多井智紀

Tomoki Tai

1982年大阪生まれ。東京芸術大学にてチェロ専攻。在学中より現代音楽演奏グループで活動。世界初演作品数は150曲超。ソリストとしてセントラル愛知交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。2010年よりCDレーベル/演奏会企画団体(時の形レコード)を開始。これまでにグループ及び個人で、フェルドマンstring quartet No.2、アルド・クレメンティ個展、古今対位法《音の綾図》、木山光&星谷文生弦四重奏演奏会、星谷作品ストーリーミング演奏会、横島浩新作個展、星谷文生《fl, vc, ボルタティール・フォルガン》、電子キーボードの為の音楽》をそれぞれ企画。ヴィオラダガンバ、自作電気楽器も演奏する。

■作曲家プロフィール

山根明季子

Akiko Yamane

作曲家。音をテクスチャから扱い、音を視る、音で造形をデザインするというコンセプトで「ポップな毒性」をテーマに作品を描いている。京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。プレーメン芸術大学に派遣留学。日本音楽コンクール第1位、芥川作曲賞など受賞。<http://akikoyamane.com>

池田拓実

Takumi Ikeda

コンピュータ音楽家。音楽用または汎用プログラム言語を用いた作品制作とライブ活動。「方法マシン」に参加(04-06年)。第4回AACサウンドパフォーマンス道場優秀賞。「映画としての音楽」他、七里圭監督作品の音楽制作。主な作曲作品はPOING(ノルウェー)、大井浩明、実験音楽とシアターのためのアンサンブル、タンブッコ・パーカッション・アンサンブル(メキシコ)、東京現音計画によって委嘱初演されている。

ソプラノ／太田真紀

Maki Ota

大阪府出身。同志社女子大学学芸学部声楽専攻卒業。大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了。

東京混声合唱団のソプラノ団員として活動後、文化庁新進芸術家海外研修制度にてローマに滞在、ジャント・シェリシの声楽作品を研究した。イザベラ・シェリシ財団(ローマ)、シェリシ・フェスティバル(バーゼル)、ヌオヴァ・コンソナツァ・フェスティバル(ローマ)、ローマ・バリケルン日本文化会館におけるコンサート、武生国際音楽祭、いづみシンフォニエッタ大阪定期演奏会、東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」、サントリー芸術財団サマーフェスティバル、Sound Live Tokyo他に出演、活発な演奏活動を行っている。

■就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。

■やむを得ぬ事情により出演者・曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

■場内に花などのお持込みをご遠慮いただく場合がございます。

Miraist Clubのご案内

Miraist Club(みらいすとクラブ)メンバーはホール主催公演などのチケットの割引、先行発売のサービスはもちろん、魅力的な特典を毎月お楽しみいただけます。ぜひ資料をご請求ください。Miraist Club事務局 045-682-2025(10:00~18:00)

■託児サービス

生後6ヶ月から学童までのお子様を、お預かりする託児サービスがございます。予約制(先着10名様・お一人様2,100円(税別))。公演の3ヶ月前から5日前までの予約受付。

【お問合せ・ご予約】株式会社 明日香(あすか)

045-316-5539(月~金:9:00~17:00/土:9:00~12:00/日・祝休)

横浜みなとみらいホール

【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

〒220-0012横浜西区みなとみらい2-3-6

TEL:045-682-2020 FAX:045-682-2023

<http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php> @yokohamammh

交通のご案内

- みなとみらい駅(東急東横線直直みなとみらい線)下車、徒歩3分。
「クイーンズスクエア横浜連絡路」改札(地下3階)より左方向。クイーンズスクエア横浜内の吹き抜けエスカレーター(赤)を1階まで上り左方向、クイーンモール左奥。
- 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、徒歩12分。
みなとみらい方面の「動く歩道」から、ランドマークプラザ経由(3階から1階へ)でクイーンズスクエア横浜、クイーンモール左奥。

